

「産油国ネットワーク会議」開催（サウジアラビア）

1. 会議の目的

2014年3月、第2回産油国ネットワーク会議をサウジアラビアで開催しました。（第1回は2012年11月にUAEで開催）この会議の目的は、JCCPが実施しているJCCP事業について、産油国側での効果や評価を確認し、今後の効果的な事業運営に役立てること、それと共に、日本との人的交流を強固なものとする事です。また、JCCP事業活動への継続的な支援協力を要請し、産油国側においてJCCPを通じた当該国とのネットワークの構築によって、日本との関係強化を更に促進すること、さらには、卒業生には、産油国各国の石油会社の幹部や責任者になっている方も多いため、日本への原油供給の安定化に資することを念頭に開催しています。

2. サウジアラビアを選定した理由

日本の原油輸入量第1位の最重要国であること、また、研修卒業生が2014年3月時点で911名を数え、現在関連会社を含む国営石油会社の要職に就いている卒業生の比率が他国と比べて高いことの2点が挙げられます。

3. 同窓会の開催

2014年3月6日に、アルコバール市内のホテル メリディアン アルコバールにおいて同窓会を開催致しました。サウジアラビアの研修卒業生を対象に幅広く参加を呼びかけました。同窓会に参加した総数は、サウジアラビア側121名、現地の日本側関係者109名の合計で230名に達しました。

- ① サウジアラビア側からはサウジアラムコを中心に、サウジアラムコ アル・カイヤール上級副社長（Mr. Abdulaziz F. Al Khayyal, Senior Vice President）、アル・ゴソン人材調整・訓練本部長（Ms. Huda M. Al Ghoson,

Executive Director, Employee Relations & Training）アル・ナフィシー訓練・開発部長（Mr. Nasser A. Al-Nafisee, General Manager, Training & Development）と、研修卒業生代表としてサウジ石油鉱物資源省科学技術ユニット アル・ジョフ マネージャー（Mr. Abdullah I. Al Jof, Manager, Technical Training Unit, Eastern Province Branch, MPMR）、サウジアラムコ リヤド製油所アル・スベイ所長（Mr. Abdul-Rahman Al-Subaie, Managing Director, Riyadh Refinery）といった要人の方々が参加されました。

- ② 日本側からは、在サウジアラビア小寺日本国大使を始め大使館関係者、及び湾岸諸国に展開する日系石油元売代表事務所並びに在サウジアラビア日系企業関係者が参加されました。JCCPからは専務理事、常務理事をはじめ関係の幹部が参加致しました。
- ③ 同窓会の進行は、日本・サウジアラビア双方代表の挨拶、小寺大使による基調講演、研修卒業生代表としてサウジ石油鉱物資源省 アル・ジョフ科学技術ユニットマネージャー、サウジアラムコ アル・スベイレヤド製油所長のスピーチに続き、日本文化の紹介として歌舞伎の連獅子が披露されました。その後、餡細工や寿司、天ぷらの日本食も提供しました。



VIP 記念撮影 小寺大使（左）、
アル・カイヤール上級副社長（左から3番目）、
アル・ゴソン人材調整・訓練本部長（中央）



アル・カイヤール上級副社長の来賓挨拶

- ④ 出席した研修卒業生から回収したアンケートを分析したところ、JCCPで受講した研修が現在の業務に大変役に立っているという回答が80%を占めました。役に立っているという研修の具体的な内容については、実地研修（本社・製油所等）が70%、歴史・文化研修が44%、JCCP本部での講義が42%でした。技術協力について関心がある分野は、装置運転の効率化や改善、再生可能エネルギー、省エネルギー、排水処理、といった点が目立ちました。



研修卒業生代表 アル・ジョフ マネージャー (MOMR)



研修卒業生代表 アル・スベイ リヤド製油所長

4. まとめ

今回の産油国ネットワーク会議で得られた成果として、以下の2点があげられます。

第一にサウジアラビア側から多数の卒業生が同窓会に参加された事実が、サウジアラビアにおけるJCCPのプレゼンスの高さを表しています。また、サウジアラムコが社内報に関連記事(添付)を掲載したことで、特に同社内におけるJCCPの認知度はより高まりました。第二にサウジアラムコなどサウジアラビア側の出席者からのアンケート結果によりサウジアラビア側のニーズをより正確に掴むことができたとともに、JCCPに対して多くの要望が出されたことにより、今後必要と思われる研修や技術協力案件の方向性のヒントを得ることができました。

結果的に、サウジアラビア国内でのネットワーク構築のみならず、サウジアラビアと日本の関係強化に改めて貢献できたと考えます。

(研修部 湯浅 隆明)



The Arabian Sun Mar. 20, 2014に掲載されました。
(左が小寺大使、右がアル・カイヤル上級副社長)



会場の風景



卒業生